

# ヒメミズゴケ

学名 *Sphagnum fimbriatum* Wilson in Hook.

目名

目名学名

科名 ミズゴケ科

科名学名 Sphagnaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

北海道, 本州に分布する。本県では九重火山群の湿地に群生する。湿地の乾燥化などにより生育地の減少が懸念される。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道, 本州
世界的分布	世界
生育環境	低地～亜高山帯の中間湿原に多い。
現 状	県下での生育地は九重火山群の湿地に限られている。
備 考	

# ホソベリミズゴケ

学名 *Sphagnum junghuhnianum* Dozy & Molk.

目名

目名学名

科名 ミズゴケ科

科名学名 Sphagnaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：情報不足(DD)



## 【選定理由】

本州, 四国, 九州に分布する。本県の生育地は県の南部から北部に点在し, 溪谷や湧水地に生育する。自然災害などによる生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 九重火山群, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州
世界的分布	台湾, 中国大陸, ヒマラヤ
生育環境	溪谷などで水がしみでる岸壁や岩棚に生える。
現状	生育地により, 林内の乾燥化が進んでいる所が見受けられる。
備考	

# コアナミズゴケ

学名 *Sphagnum microporum* Warnst. ex Cardot

目名

目名学名

科名 ミズゴケ科

科名学名 Sphagnaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

北海道, 本州, 四国, 九州に分布する。本県では生育地が少なく, 湿地の開発や乾燥など環境の変化により絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州
世界的分布	朝鮮, 中国
生育環境	沼沢地や湿地に生育する。
現 状	玖珠丘陵地・山地および九重火山群の湿地に生育している。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]



# オオミズゴケ

学名 *Sphagnum palustre* L.

目名

目名学名

科名 ミズゴケ科

科名学名 Sphagnaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)



## [選定理由]

北海道, 本州, 四国, 九州に分布する。本県での生育地は他のミズゴケに比べてやや多いが, 湿原の開発や乾燥, 森林の伐採, 人による採取などにより生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州
世界的分布	世界
生育環境	山地の湿った地上や中間湿原に白緑色の大きな群落をつくる。
現 状	生育地が散在的である。生育地によっては生育範囲が狭くなっている所がある。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]・指定希少野生動植物

# クマノゴケ

学名 *Diphyscium lorifolium* (Cardot) Magombo

目名

目名学名

科名 キセルゴケ科

科名学名 Buxbaumiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)



## 【選定理由】

本州, 四国, 九州に分布する。本県では県の南部から北部にかけて生育地が散在するが, 生育するする量は少ない。谷部の乾燥化や自然災害など, 環境の変化による生育状態の悪化が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州
世界的分布	朝鮮, 中国
生育環境	溪流沿いで時々, 水をかぶる岩上に着生する。
現状	どの生育地においても生育している量は少ない。生育地によっては自然災害などで生育している量が減少している。
備考	



## コバノイクビゴケ

学名 *Diphyscium perminutum* Takaki

目名

目名学名

科名 キセルゴケ科

科名学名 Buxbaumiaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省： I (CR+EN)



## [選定理由]

日本固有種。本州中部地方以西，四国，九州，琉球に分布する。本県での生育地は少なく，各生育地共に生育する量が少ない。生育地の乾燥化や自然災害による絶滅が危惧される。

県内分布	国東地区, 玖珠丘陵地・山地
分布域	本州(中部地方以西), 四国, 九州, 琉球
世界的分布	(日本固有種)
生育環境	湿度の高い林内の岩上に生える。
現 状	各生育地共に生育する量が少ない。
備 考	

# フウリンゴケ

学名 *Bartramiopsis lescurii* (James) Kindb.

目名

目名学名

科名 スギゴケ科

科名学名 Polytrichaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

北海道, 本州, 四国, 九州に分布する。本県での生育地は少ない。森林の乾燥化や自然災害による生育地の減少が懸念される。

県内分布	九重火山群, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州
世界的分布	極東ロシア, 北米西部
生育環境	亜高山帯の針葉樹林下の土手や岩上に群生する。
現 状	生育は小規模に群生している。
備 考	

## コキヌシツポゴケ

学名 *Seligeria pusilla* (Hedw.) Bruch & Schimp.

目名

目名学名

科名 キヌシツポゴケ科

科名学名 Seligeriaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: I (CR+EN)

NO IMAGE

## [選定理由]

県内分布	(豊後水道後背地域)
分布域	北海道, 本州, 九州
世界的分布	欧・北米
生育環境	湿った石灰岩上に散生する。
現 状	北海道, 本州, 九州の石灰岩地域に分布する。植物体が微小であり, 生育地の乾燥化や自然災害など, 環境の変化により絶滅の危険性が高い。本県では過去に採集した記録があるが近年生育が確認されていない。
備 考	



# コモチネジレゴケ

学名 *Tortula pagorum* (Mild.) DeNot.

目名

目名学名

科名 センボンゴケ科

科名学名 Pottiaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

本州, 四国, 九州, に分布する。本県での生育地は大分市街地の公園で, 九州唯一の生育地である。樹皮の乾燥化や公園樹木の整理などにより絶滅の危険性が高い。

県内分布	別府湾沿岸地域
分布域	本州, 四国, 九州
世界的分布	欧・北米, 豪
生育環境	樹幹に着生する。
現 状	公園の樹木1本に着生する。着生の量は少ない。
備 考	九州唯一の生育地

# ヤマトハクチョウゴケ

学名 *Campylostelium brachycarpum* (Nog.) Z.Iwats.

目名

目名学名

科名 ギボウシゴケ科

科名学名 Grimmiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：Ⅱ (VU)



## 【選定理由】

本州, 四国, 九州に分布する。本県では生育地が少ない。森林の伐採や谷部の乾燥など, 環境の変化により生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 九重火山群
分布域	本州, 四国, 九州
世界的分布	北米東部
生育環境	山地の林内の半日陰で比較的多湿地の溶岩や凝灰岩上に生育する。
現状	各生育地ではやや湿度のある転石に着生している。環境の変化による生育量の減少が心配される。
備考	

# シモフリゴケ

学名 *Racomitrium lanuginosum* (Hedw.) Brid.

目名

目名学名

科名 ギボウシゴケ科

科名学名 Grimmiaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

北海道, 本州, 四国, 九州に分布する。本県での生育地は過去に比べてかなり減少している。自然災害などにより生育地の減少が懸念される。

県内分布	由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州
世界的分布	世界の温帯～寒帯
生育環境	高山の岩上や地上に群生する。
現 状	生育地は山頂域で, 裸岩に着生している。
備 考	



## アオシマヒメシワゴケ

学名	<i>Erpodium glaucum</i> (Wilson) I.G.Stone var. <i>trichophyllum</i> (Aongstrom ex Müll.Hal.) I.G.Stone	
目名		
目名学名		
科名	ヒナノハイゴケ科	
科名学名	Erpodiaceae	
カテゴリー	大分県： I A (CR)	環境省： II (VU)



## 【選定理由】

本州, 四国, 九州に分布する。本県での生育地は県南部の豊後水道域2箇所であまり少ない。樹皮の乾燥化や自然災害などによる絶滅が危惧される。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州, 四国, 九州
世界的分布	アフリカ
生育環境	暖地の海岸近くの樹木に着生する。
現 状	海岸近くの神社林の樹幹に着生し, 着生する量は少ない。
備 考	

# フガゴケ

学名 *Gymnostomiella longinervis* Broth.

目名

目名学名

科名 オオツボゴケ科

科名学名 Splachnaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)



## 【選定理由】

本州, 九州, 琉球の石灰岩地域に分布する。本県の生育地は九州唯一の生育地である。生育している場所の改変により, 絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	石灰岩地域
分布域	本州(千葉県), 九州, 琉球
世界的分布	中国, フィリピン, ミャンマー
生育環境	石灰岩または石灰質を含む岩上に生える。
現 状	生育している場所が道路に近く, 防護壁の設置や道路拡幅工事などによる減少の危険性がある。
備 考	九州唯一の生育地

# タチチョウチンゴケ

学名 *Orthomnion dilatatum* (Mitt.) P.C.Chen

目名

目名学名

科名 チョウチンゴケ科

科名学名 Mniaceae

カテゴリー 大分県: I A(CR) 環境省: I (CR+EN)



## 【選定理由】

本州, 四国, 九州に分布する。本県での生育地は一箇所で, 樹幹に着生する。着生する樹木は観光地の駐車場にあり, 伐採などの危険性が高い。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	本州, 四国, 九州
世界的分布	東南アジア
生育環境	樹幹上, 時に岩上に生える。
現 状	過去の自然災害により着生木が流失した。その後の調査によりカエデなど3本の立ち木に本種を確認できた。生育する量は少ない。
備 考	



# エゾチョウチンゴケ

学名 *Trachycystis flagellaris* (Sull. & Lesq.) Lindb.

目名

目名学名

科名 チョウチンゴケ科

科名学名 Mniaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

北海道, 本州, 四国, 九州に分布する。本県での生育地は少なく, 各生育地は共に, 生育する量が少ない。森林の乾燥化や自然災害により生育地の減少が懸念される。

県内分布	九重火山群, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州
世界的分布	東アジア, 北米西部
生育環境	山地の腐木上または岩上に生える。
現 状	各生育地は標高800m以上で, やや明るく, 湿度のある林下の転石上に散生している。
備 考	

## シバゴケ

学名 *Racomitrium aristatum* Mitt.

目名

目名学名

科名 シバゴケ科

科名学名 *Racomitriaceae*

カテゴリ 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

本州中部地方以西，四国，九州，琉球，小笠原に分布する。本県での生育地は少ない。台風や集中豪雨など自然災害による生育状態の悪化が懸念される。

県内分布	豊後水道域，石灰岩地域
分布域	本州(中部地方以西)，四国，九州，琉球，小笠原
世界的分布	朝鮮，中国，フィリピン
生育環境	溪流沿いや林縁の湿った岩上や腐木上に生える。
現状	海岸地の林縁や石灰岩地の谷部などに生育している。生育環境が不安定である。
備考	

## イブキキンモウゴケ

学名 *Ulota perbreviseta* Dixon & Sakurai

目名

目名学名

科名 タチヒダゴケ科

科名学名 Orthotrichaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

## [選定理由]

本州中部地方以西, 四国, 九州に分布する。本県では生育地が少ない。自然災害や植生遷移などによる生育状態の悪化が懸念される。

県内分布	由布・鶴見火山群
分布域	本州(中部地方以西), 四国, 九州
世界的分布	朝鮮
生育環境	山地の尾根部や山頂域の低木の枝に着生する。
現 状	リウツギなどの灌木に着生している。リウツギなどの植生遷移により減少が懸念される。
備 考	



## フロウソウ

学名 *Climacium dendroides* (Hedw.) F.Weber & Mohr

目名

目名学名

科名 コウヤノマンネングサ科

科名学名 *Climaciaceae*

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



## [選定理由]

北海道, 本州, 四国, 九州に分布する。本県での生育地は耶馬溪丘陵地にある。生育は溪流辺の地上で, 台風などの増水による流失が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州
世界的分布	北半球, ニュージーランド
生育環境	湿った地上, 腐植土上, 岩上, ときに湿地に生育する。
現 状	溪流辺に生育する。溪流の水面より約30cmの高さで, 増水のたびに冠水状態にある。
備 考	

## ツルゴケ

学名 *Pilotrichopsis dentata* (Mitt.) Besch.

目名

目名学名

科名 イトヒバゴケ科

科名学名 *Cryphaeaceae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

## [選定理由]

本州, 四国, 九州, 琉球に分布する。本県での生育地は県の南部から北部に点在する。林道開発や森林の伐採などで生育地の減少が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 耶馬溪地区, 祖母・傾山地, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 九重火山群
分布域	本州, 四国, 九州, 琉球
世界的分布	中国, 東南アジア, アッサム
生育環境	林内の樹上や岩上に生える。
現 状	やや明るい林縁の樹幹や岩上に生えている。生育している量は少なく, 生育環境が不安定である。
備 考	

## リスゴケ

学名 *Dozya japonica* Sande Lac.

目名

目名学名

科名 イタチゴケ科

科名学名 Leucodontaceae

カテゴリ 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



## 【選定理由】

本州東北地方以南, 四国, 九州に分布する。本県での生育地は県の南部から北部に点在するが森林の伐採や自然災害などによる生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 石灰岩地域, 祖母・傾山地
分布域	本州(東北地方以南), 四国, 九州
世界的分布	中国, 極東ロシア, フィリピン
生育環境	樹上, まれに岩上に群生する。
現 状	明るい林縁の樹幹や岩上に着生している。生育している量は少ない。生育環境が不安定である。
備 考	